

毎月第三日曜日

楽しい話し合い・相談・情報交換ができる

# オレンジカフェ静岡

5月17日 午後2時～4時（参加費100円）

5月の  
ミニ講話

## 『認知症医療の進歩に伴う相談支援の近況について』

堀 友輔さん

静岡てんかん・神経医療センター  
医療ソーシャルワーカー

静岡てんかん・神経医療センターは、平成二十六年より静岡市認知症疾患医療センターの指定を受け、年間に約三百件の鑑別診断と約千件の相談に対応し、地域の認知症医療を支えています。

二〇二三年の抗アミロイドベータ抗体薬（二剤が保険適応）の登場により、軽度認知障害（MCI）から軽度認知症の段階での治療選択が可能となりました。しかしながら、高額な医療費、定期的な薬剤投与、副作用の

抗アミロイドベータ抗体薬による高額な医療費は、高額療養費制度などの制度を活用し、高額の医療費を支払うことなく日常生活に支障をきたす場合が非常に多く、ご本人やご家族の希望に沿った生活支援や家族支援、介護サービスの活用や社会資源の活用を行います。また、物忘れを疑った時の医療機関の選び方や相談窓口についてもお話しさせていただきます。



プロフィール

静岡てんかん・神経医療センター  
（静岡市認知症疾患医療センター）  
医療ソーシャルワーカー

抗アミロイドベータ抗体薬による高額な医療費は、高額療養費制度などの制度を活用し、高額の医療費を支払うことなく日常生活に支障をきたす場合が非常に多く、ご本人やご家族の希望に沿った生活支援や家族支援、介護サービスの活用や社会資源の活用を行います。また、物忘れを疑った時の医療機関の選び方や相談窓口についてもお話しさせていただきます。

## § 認知症を語り合う会の報告 §

☆ミニレクチャーに講師として富士宮からおいでいただいた増田さん、石川さん、下村さんを囲んで語り合いました。

増田さんから次のようなお話がありました。認知症の本人（夫）を「怒らせない」、「落ち着くまで待つしかない」という我慢強い対応をした。認知症の人の仕事場「木工房いつでもゆめを」や認知症カフェで、認知症の家族への対応について、さまざまな助言や支援をいただいたことが大きかった。

家族の認知症を隠すのではなくオープンにして、率直に相談すれば、さまざまな支援が得られる。他の家族が認知症本人にどう対応しているのかを知って、いろいろ勉強になり、選択肢が増えていきました。

### 今後のオレンジカフェ予定

令和8年6月21日（日）

「今、私にできること」

防災について一緒に考えてみませんか？

石川佳代子さん

静岡県防災士

日本防災士機構防災士



令和8年7月19日（日）

海瀬 幸さん

社会福祉法人静和会

特別養護老人ホーム丸子の里

管理栄養士

令和8年8月16日（日）

松園温子さん

静岡リハビリテーション病院

リハビリテーション部

理学療法士



### カフェのプログラム

一、ミニ講話 堀友輔さん

質疑応答

二、声のワークショップ 上藤美紀代さん

認知症を語り合う会 二階会議室

（二）はご希望のところにご参加ください

### 個別相談

今月は伝馬町横内地域包括支援センターから、榎千恵子さん（主任ケアマネジャー・社会福祉士・介護福祉士）が城東ハピスポにいらして、相談のつてくださいます。

会場 静岡市葵区城東町 34-14

# 城東コミュニティプラザ HapiSPO (ハピスポデイ和かな)

会場提供 社会福祉法人静和会

共催

NPO 法人ヒューマン・ケア支援機構

社会福祉法人静和会

連絡先 ☎ 090-8731-7647 (岩崎)

✉ shizuoka.orangecafe@gmail.com



バス：静岡駅北口、5,6番からのすべてのバスで横内町静岡学園前または巴町下車。徒歩5分